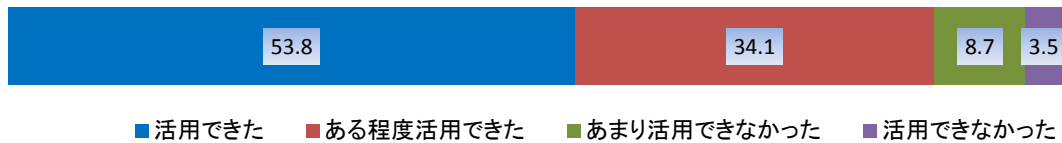


# 地域再生基盤強化交付金に関するアンケート結果の概要

(平成27年6月)

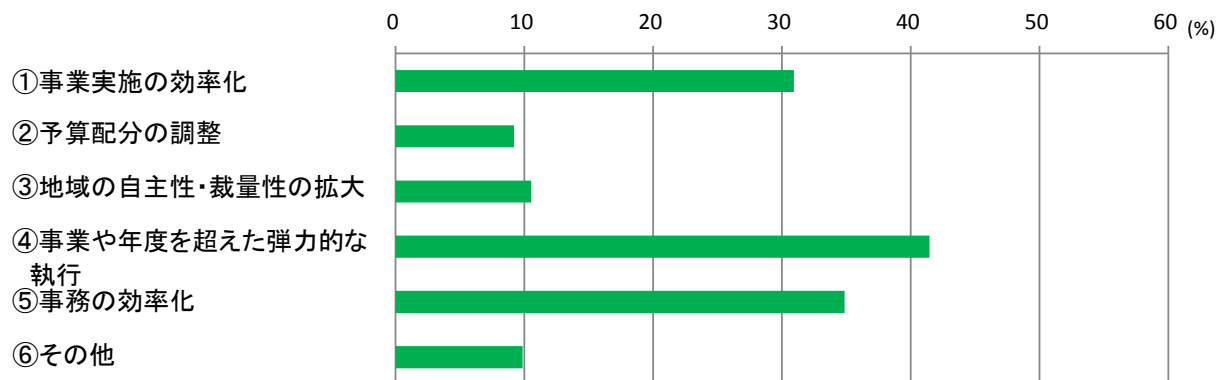
- 調査期間 平成27年4月16日～平成27年4月28日
- 調査対象 本交付金を活用した地域再生計画(平成26年度完了分)の計画策定主体(都道府県、市町村)
- 回答数 170計画

## 【問】地域再生基盤強化交付金の持つメリットの効果的な活用について (%)



●約88%の自治体が交付金のメリットを活用できたと回答

## 【問】交付金のメリットを活用できた点(複数回答有り)



## 【問】地域再生基盤強化交付金の今後の活用方向について (%)



■ニーズがあり活用したい ■具体的なニーズがあれば活用したい ■当面活用する予定がない

●約89%の自治体が「活用したい」、「具体的なニーズがあれば活用したい」と回答

## 【問】地域再生基盤強化交付金を活用した地域再生計画全体としての目標達成度 (%)



■目標を上回った ■目標どおり ■目標を下回った

●約75%の自治体が「目標を上回った」、「目標どおり」と回答

### 「交付金のメリットを活用できた主な事例」

- 市町道、林道、農道の一体的整備によるネットワーク化が進んだことで、滞在・体験型観光の促進による観光客の増などの効果があった。
- 浄化槽事業で設置申し込みが計画より多く事業費が増大した年度があったが、事業間調整ができたことにより、工事を中断せずに執行できた。
- 港湾と漁港を同時に整備することにより、水産振興への相乗効果が図られた。
- 事業進捗状況に応じて交付金を年度間融通できることにより、柔軟に事業執行することができた。
- 計画申請等の手続窓口が一本化され、事務の簡素化が図られた。

### 「交付金のメリットを活用できなかった事例」

- 計画作成主体での関係係局が多いことから連携が取りづらく、調整に時間を要した。
- 事業が円滑に進み、各施設間において流用を行う必要が生じなかった。
- 市町村道と林道を各々整備するにとどまった。

### 「その他意見、要望について」

- 制度として利用しやすく、地域の自主性も高まる事業であり、今後も活用したいので、予算の確保を今後ともお願いしたい。
  - 今後とも制度の継続と予算の確保をお願いしたい。
- 本交付金を活用して行う地域の自主的、自立的な取り組みが、より総合的かつ効果的なものとなるよう、今後も本交付金の制度、メリットの周知を図るとともに、中間、事後評価結果によって計画の進捗状況等を検証し、地域再生計画及び本交付金の実施状況やその効果について適切にフォローアップを行う。